

平成30年度 学校自己評価システムシート（県立三郷高等学校）

目指す学校像	志と思いやりの心を育み、生徒一人一人の進路を実現する学校
--------	------------------------------

重点目標	1 集団の一員としての自覚と規律の確保 2 基礎学力とコミュニケーション能力の定着 3 キャリア教育の充実と志の育成 4 家庭・地域と連携した安心安全な教育環境の確保
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2月1日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	○現状 きめ細かな指導により、規範意識の定着を図っている。大部分の生徒は、素直であり、協力的である。一部生徒に自覚に欠ける行動がある。 ○課題 全生徒への基本的な生活習慣の定着が課題である。	○時間厳守、授業専念等の凡事を徹底させる	①毎日登校指導と巡回指導、挨拶指導を実施する。 ②遅刻について、段階的な指導を展開するとともに、保護者との連携を図る。 ③生徒情報を共有し、スクールカウンセラーを積極的に活用する。	①遅刻者数の減少。 ①②皆勤者数の増加。 ③見守りの必要な生徒の情報共有。		
		○集団の一員であることを自覚させる	①仲間との団結や、協力する姿勢を重視した行事運営を行う。 ②三郷市と連携した「親になるための学習」を継続して実施する。 ③部活動生徒を中心に、地元主催行事等の運営に協力する。	①生徒の各行事参加率、運営への協力姿勢。 ②生徒の参加態度、満足度。 ③三郷市主催行事への協力状況。		
2	○現状 基礎重視の授業展開により、学習意欲が向上し、成績優秀者が増加している。一部に意欲に乏しい生徒や、自己表現力が未熟で、他者とのコミュニケーションに支障のある生徒がいる。 ○課題 基礎学力を定着させ、コミュニケーションスキルを向上させることが課題である。	○基礎学力を定着させる	①スタディサプリを学年進行で導入し、家庭学習を支援する。 ②教員が校内外の公開授業に積極的に参加し、成果を共有する。 ③生徒による授業評価アンケートを実施し、結果をフィードバックする。	①成績優良者数の増加と成績不振者の減少。(前年度比) ②公開授業参加者数と校内での成果共有の状況。 ③生徒アンケート結果による授業満足度。		
		○コミュニケーション能力を育成する	①5月に、アドベンチャー学習を実施する。 ②学期初めの4月、9月、1月に全校でコミュニケーション能力育成プログラムを実施する。 ③協調学習を取り入れた授業を実践し、主体的な学びを推進する。	①アドベンチャー教育、ボランティア活動参加の満足度。 ②コミュニケーション能力育成プログラムの実施状況。 ③協調学習を取り入れた授業における生徒の参加態度と満足度。		
3	○現状 三年間を見通した進路指導計画を構築し、学年差やクラス差のない進路指導を展開している。早期に高い就職内定を達成し、推薦を中心とした進学実績も高い。一部に、自らの生き方を考察できない生徒がいる。 ○課題 自己肯定観を醸成し、キャリア教育を充実させることが課題である。	○志を育成する	①「校長賞」を設定し、生徒の日々の頑張りを表彰する。 ②生徒会役員や各部部長、各委員会委員長等により多くの活躍場面を与え、リーダーを育成する。 ③志を育てる講演会等を実施する。	①表彰回数状況。 ②生徒活躍場面の確保の状況。 ③外部講師による講演会の実施と実施アンケート結果。		
		○キャリア教育を充実させる	①入学から卒業までの3か年進路指導計画を策定し、学年差のない指導を展開する。 ②就職対策として、外部講師による面接指導を導入する。 ③漢字検定の全員受検を実施する。6月(3年)、1月(1、2年)。	①総合的な学習の時間とホームルームの活用状況。 ②面接指導の実施回数。 ③検定試験等の合格状況。 ①②③進路決定時期と実績。		
4	○現状 PTA後援会理事会や、学校行事への保護者参加は、年々増加している。また、地元三郷市からの依頼に応える公開講座や、地元中学校への出前授業も積極的に実施している。 ○課題 学年レベルでのPTA行事の活性化や、地元地域からの生徒確保が課題である。	○PTA活動を活性化	①PTA・後援会総会において、本校の取組を具体的に説明する。 ②PTA専門部主催の事業をタイムリーに、効果的に実施する。 ③積極的なPRにより、保護者の体育祭や文化祭等への来校を促す。	①保護者の本校教育実践に対する理解の状況。 ②PTA各事業への参加者数 ③体育祭や文化祭等への保護者来校者数。		
		○地域連携を推進する	①ホームページ、学校案内、MISATOニュースレター等の広報ツールを活用する。 ②8月に地域向け公開講座を実施するとともに、中学校からの要請による出前授業に協力する。 ③教員による中学校訪問とともに、代表生徒による母校訪問を行う。	①ホームページの更新回数、「MISATOニュースレター」の発行数。 ②公開講座、出前授業の実施と参加者数。 ③中学校訪問と母校訪問の実施状況、地元地域からの志願状況。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成31年2月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	